

- 大規模な感染が発生しており、陽性率も高水準の中、療養決定されていない陽性者が多数発生。
- 新規陽性者へのフォロー体制のさらなる重点化を図り、ハイリスク者・高齢者の対応を強化。

◆現状1： 1日あたりの新規陽性者数が約1万人を超えるなど、過去に類をみない感染規模。

◆現状2： 陽性者の増加により、入院患者の増加し、病床がひっ迫している。重症者の年代別では60代以上が約8割を占めている。

◆現状3： 高齢者施設等のクラスター発生が急増している。

リスクの高い陽性者への重点化・対応強化 (2月14日付)

ファーストタッチを行う対象者の重点化 (2/9国事務連絡に準じる)

○ファーストタッチ・健康観察を行う 対象者を65歳以上に重点化

- ①65歳以上の者
 - ②65歳未満の者のうち、重症化リスク因子[※]を複数持つ者
 - ③妊娠している方
- ・重症化リスクのない65歳未満は、自宅療養とし、必要な情報をSMSを活用して周知。宿泊療養希望の場合は自宅待機SOSに連絡。
- ・①～③の方は発生届の記載内容から保健所が療養方針を決定。
- ・①～③に該当するが保健所から連絡がなく、保健所に連絡しても、繋がらなければ自宅待機SOS(電話:0570-055221)に連絡。

※ワクチン未接種(ワクチン接種が1回のみの方も含む)、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病、脂質異常症、高血圧症、慢性腎臓病、悪性腫瘍、肥満(BMI 30以上)、喫煙、固形臓器移植後の免疫不全

リスクの高い高齢者への対応強化

○各保健所の高齢者施設 対応を強化

【高齢者施設等】

- ◎保健所内の対応チームは、高齢者施設等の医療体制・往診の支援。
- ◎施設に対する物資的支援を強化。

【その他の高齢者等】

- ◎地域の関係団体、医療機関と連携した在宅での療養・治療支援
- 能動的な健康観察実施。
- 児童関連施設は必要に応じて保健所に相談(継続) 1